

特別安全祈念日



稲荷神社での安全祈願

8月9日、特別安全祈念行事を行いました。
東長原事業所では2008年8月9日と同年11月15日に二度のホスゲン漏洩事故を発生させた反省と教訓を風化しないよう毎年8月9日を特別安全祈念日と定め、安全に関する様々な行事を行っています。

当日は事業所稲荷神社で、事業所長含む全経営職層、労働組合、職場、場内協力企業の代表の方々が参列して安全祈願を行い、ホスゲンを取り扱う設備を管理・運転しているFC課の職場代表者による安全宣言を実施した後、記念館で安全講演が行われました。

渡辺事業所長からは、ホスゲン漏洩事故発生時の振り返りと、今年の中全グループ内で起こった災害事例や事故事例を挙げて気になる点などのお話がありました。これらを参考に、東長原事業所でも人的要因で同じ事が起こりうる事、また、確認によって防げる事を説明いただき、今一度日常の業務に潜む危険性を考える機会となりました。

また、今年の中全講演は本社環境安全部の矢野さんをお招きして「環境事故がもたらすもの」についてご講話をいただきました。近隣地区住民の皆様への信頼を失わぬようしっかりと安全管理を行うのはもちろんのこと、事故を教訓として後世に伝えていく事が大事である事、また、常日頃からの地域との対話が重要である事をお話いただき、地域の方々との交流の機会を継続していく事の重要性を感じました。東長原事業所に在籍した28年の経験に基づく講演にはとても説得力があり、聴講した従業員は安全管理について再認識する事ができた1日となりました。

東長原事業所は、これからも、過去から学んだ事を活かし、地域との共生を大事にしながら、安全最優先で事業所運営を進めていきます。



安全講演



聴講の様子

会津工業高校生見学会

6月18日、会津工業高校生見学会を開催し、35名が東長原事業所に見学に来られました。

今回は「開発グループの仕事に興味がある」というリクエストに応える形で、開発グループ実験室の見学を行いました。生徒の皆さんは、室内の様子や仕事内容の説明に熱心に聞き入り、真剣にメモを取っていました。FC課の見学ではCCRと高純度ガスの充填建屋の見学を行い、生徒の皆さんは興味津々で見入っていました。その後同校OBの先輩から体験談発表があり、業務内容の説明や、資格取得に向けてのアドバイスや安全最優先の大事さを感じながら業務に取り組んでいる事など、実体験についての話がありました。実施したアンケート結果から、東長原事業所には会津工業高校の先輩が多く働いている事ため「レゾナック」の知名度が高いと感じました。

また、その先輩達の働きぶりに「安全への意識が高い」などの回答が多く、嬉しく感じたと同時に、今後も来場者にも伝わるような安全文化を醸成していこうと気持ちを新たに1日でした。



実験室見学で真剣にメモを取る様子



充填建屋内で説明を聞く様子

納涼祭



打上花火



スイカ早食い大会

8月23日、事業所敷地内のグラウンドにおいて東長原近隣地区の皆様とのコミュニケーションと所内企業の従業員及び家族の懇親を目的として、労使共催による「納涼祭」が盛大に開催されました。

高橋社長の挨拶はじめご来賓の方々のご紹介ののち、染宮常務執行役員から乾杯のご発声をいただきました。今年のステージショーは「フラダンス&ハワイアン音楽」で、ハワイの伝統的な音楽とダンスに、ご来場の皆さんも見入っている様子でした。その次に行われた「スイカ早食い大会」では従業員をはじめ子供から大人まで飛び入り参加もあり、フードファイターを思わせる素晴らしい食べっぷりと白熱した戦いに会場が大いに盛り上がりました。その他にも子供向け屋台、ミニSLやストラックアウトも好評で、協力企業の方々による屋台では、恒例の焼きそばや焼きトウモロコシ、フランクフルトに枝豆などが用意され、こちらもご来場の皆様にご満足いただけたようです。

エンディングの花火は昨年よりボリュームを増した約160発の花火が上がりました。近距離で見られる大きな花火に最後まで熱気が冷めやらない納涼祭となり、猛暑の中ご来所いただいた人数は1100名以上で大盛況のうちに終了となりました。今後も地域の方々や従業員に楽しんでいただける内容で納涼祭を盛り上げていきます。